

スポーツ研究所シンポジウム「オリンピック・パラリンピックのレガシー」



鈴木大地スポーツ庁長官

スポーツ研究所(佐竹弘靖所長の公開シンポジウム「オリンピック・パラリンピックのレガシー」)が10月27日、生田キャンパスで開かれた。女子レスリング五輪4連覇を達成し国民栄誉賞を受賞した伊調馨選手らの熱い議論に約700人が東京大会への思いを新たにしました。



4連覇を達成した伊調馨選手

伊調選手ら熱い議論



銀メダルの山本篤選手

東京大会へ「思い」新たに

鈴木大地スポーツ庁長官(1988年ソウル五輪水泳1000メートル背泳ぎ金メダリスト)は、基調講演で「日本の金メダルを増やすには、体格を強えず世界と戦える競技を強化しなければ。ネット越しに対戦する球技や射撃、アーチェリーなどがある」と考えている」と発言。



パラリンピック競技は競技レベル向上が著しく「練習環境から指導者、競技団体までパラリンピックをオリンピックと一体と捉える支援体制を整えたい」と力を込めた。シンポジウムは、伊調

われら北鳳



2013年に閉学した専修大学北海道短期大学(北海道美唄市)の記念碑が完成、披露の会が10月22日(現地)で開かれた。1968年の開学時から同短大とともに歩んできた田中貞美、工藤正義両元学長や高橋幹夫美唄市長ら約30人が集い、往事を懐かしんだ。同短大は地域に根ざした短大として、45年間で1万2000人を超える卒業生を社会に送り出した。

美唄に短大の碑

記念碑を前に思いを語る工藤元学長(右端)。

記念碑は高さ1.7メートル。同短大の1号館で使用されていた赤御影石を用いて製作。表面には、広報紙の題字に使われた「われら北鳳」が刻まれた。旧キャンパス正門南側の陸上競技グラウンドがあった場所に建つ。

日高義博理事長は「たを象徴する呼び名だ」と感慨深げに語った。

世代を超えて旧交温める

多彩な催し

津田さん(右)と山田教授の対談に多くの来場者が聴き入った



開会のあいさつを述べる佐々木学長



人気を集めた黒田投手の写真展



活動を報告する森本ゼミの学生



ホームカミングデー

卒業生を生田キャンパスに招くホームカミングデーが、鳳祭開催中の11月5日に行われた。10回目を迎え、全国各地から集まった約500人が世代を超えて旧交を温めた。今年も多くは卒業生に楽しんでもらうと、多

一三エース専修

毎月1回15日発行 (定価一部590円) 発行所 専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区 神田神保町3-8 ☎03-3265-5819(直)

http://www.senshu-u.ac.jp/

主なニュース

石巻専修大学「杜の都駅伝」女子競走部が力走21位

② 科研究新規採択率私大3位/人文研・社研活動報告

③ 講演「専修大学の法学教育」/公開講座「歴史を紐とく」

④ Uターン就職支援へ 鳳祭で19自治体がPR

⑤ 写真特集・創立137年鳳祭・神田鳳祭2016

⑥ ネット情報学生が認知症カフェでお年寄りと交流

⑦

⑧

⑨

⑩

「センデイ」LINEスタンプ配信中

専修大学フィルハーモニー管弦楽団 第44回定期演奏会

12月17日(土) ミューザ川崎シンフォニーホール

◇時間 13時20分開場/14時開演

◇指揮者 林慶亮氏

◇入場料 1000円

◇曲目 目シベリウス交響曲第2番 ロッシニー 「セリアの理髪師」 ヌグニッチ 「小組曲」

Twitter/Facebookで。 E-mail: senshuphi@gmail.com